

## 7月の振り返り

7月は前期期末テストで始まりしました。第2週目からはテストの返却がありましたので、生徒たちの学習の振り返りを期待しています。

24日に夏休み前集会を、会議室と各HR教室にてオンラインで行いました。体育館で一斉に対面で行いたところですが、暑さのため、冷房のない体育館に1,000名近くが集まることは危険であると判断しました。

夏休み前集会での校長の話は、3点でした。

一つ目は、34日間の夏休みが終わり、8月28日の始業日に、充実した夏休みだったと実感できる時間を過ごして欲しい。そのために自発的な意思で、夏休みだからできることをやること。例えば、プログラミングを独学でチャレンジする、本15冊読破する、筋トレのメニューから調べて習慣化するなど、自分の得意や興味のあることに自発的に取り組み、心に残ることをする。何もしない夏休みだったと後悔しないように成し遂げること。

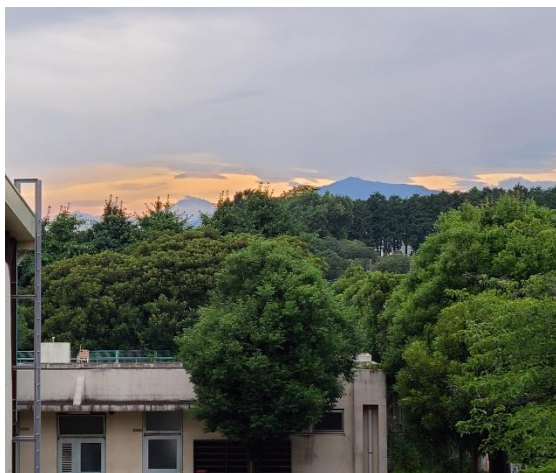
二つ目は、綾高は現在の1年生が48期生。もうすぐ50周年を迎える伝統のある学校である。約17,000人の卒業生がいて近くで見ている。今の綾高を応援したくなるように、皆で綾高生を自覚して、また、誇りをもって日々を過ごすこと。友達や先輩を見て、凄いな、いいな、と思ったことを、自分を高めるために真似をしてみる。また、誰かがそれは違うのではないかと思う言動を取った時に、声を掛けるとか、お互いを高め合って、学校を成長させよう。

三つ目は、猛暑の夏である。十分な睡眠と食事を取ることを。少しでも体調が悪い場合は、無理をせず、部活動等の予定していたものを休むこと。休む勇気も持つこと。また、活動中に体調が悪くなった場合は、早めに先生や周囲にそのことを伝えること。

集会は、学習支援グループ、生徒支援グループの先生から夏休み中の心得に関する話が行われたのと、前期部活動等の生徒表彰等を行いました。

校舎と体育館に移動するスペースに、環境省が出す熱中症予防情報の暑さ指数を掲示しています。また、WBGT計測器を7つ用意しています。

教職員も状況に合わせて部活動等を行っています。



正門から見る夕焼けの大山と富士山



七夕に願いを